



経営指針を創る会特集



経営指針を創る会特集
「創る会」で経営姿勢が確立できた
経営指針を創る会
「実務化コース」の
新設について
第37期「経営指針を創る会」のご案内



DoYu Now
▼「アベノミクスの恩恵が、地域や中小企業までいきわたらない」と言う話をよく聞きます。しかしアベノミクスは、ジャブジャブにお金を溢れさせ、株高、円安を誘い、株式上場企業や、輸出を主体にしている一部の巨大企業、建設業を潤すものです。で、そのおこぼれが地域や中小企業に回ると言う時代錯誤の経済モデルをそのまま踏襲しているに過ぎないものです。今や巨大企業は海外への投資を最優先としていたり、激しい世界競争に打ち勝つために海外企業へのM&Aを強力に推進しています。ほとんどの国内中小企業には、その「おこぼれ」は期待できないと言うわけです。地域中小企業がしっかりと「維持・発展」するためにはEU小企業憲章や、アメリカのエコノミックゲートウェイ戦略に代表されるように、今日の現実を正しく踏まえた中小企業、地域経済政策が必要です。残念ながら、政治がそのような適切な戦略に気が付いていない我が国の地域中小企業の経営環境は一層厳しくならざるを得ないでしょう。中小企業家同友会が自らの経験に基づいて確立した「理念・指針の確立・定時採用、社員共育ち」の3本柱の経営をしつかりと推進することが、いよいよ重要になっていきます。

経営指針を創る会「実務化コース」の新設について

経営指針を創る会を卒業された会員を対象に、経営理念を軸にして成文化された経営指針書の実践に向けて、社員と共に取り組むしくみを確立し、実務に使えるシートにまとめることをねらいとします。

【実務化コース】の効果

- 成文化された「経営指針書」を社内で実践するにあたって、効果的な発表の仕方をするには、社内の人々の意識づけ(動機づけ)に大きな意味を持たせることができる。
- 理念に照らした指針を発表し、社員の成長する土壌を用意することは、人間尊重経営の推進に繋がり、経営者が組織内へ向けて理念の浸透に向けた強力なメッセージとなり、適切にフィードバックすることで、経営者と社員の「共育」を推進する。
- 理念に則した行動指針の策定、適切なフィードバック面談の導入は、社内の人々の人材育成と能力開発に繋がり、特に指針経営の推進役となるリーダーの職務意識の改革を促す。

【実務化コース】の内容

講座名	内 容	日 程
第1講	「経営指針を創る会実務化コース」の目的 「指針書発表会の準備と進め方」 ・発表会準備のポイント ・伝えるポイント ・発表会後の取組みについて	2015年10月17日(土) 13:00~18:00
第2講	「わが社のありたい人材像」人事方針の策定 ・経営者の大切な考え方5分類 「経営者が社員と向き合う具体策」 ・経営者の自己診断と振り返りシートによる育成姿勢 ・経営者の社員育成に対する考え方と具体的施策	2015年11月7日(土) 13:00~18:00
第3講	「社員が育つための経営者がサポートする仕組み」 「経営者と社員が取り組むよい土壌づくり」 ・よい職場環境をつくる社内の行動指針の策定 「育成面談の進め方」 ・育成面談シートの活用方法	2015年12月5日(土) 13:00~18:00

参加費用 ● 32,400円 定員 ● 10名(定員になり次第締切りとなります。) 会場 ● 同友会事務局

経営指針を創る会「実務化コース」参加お申込み用紙

第1期 経営指針を創る会「実務化コース」への参加を申し込みます。(FAX 077-561-5334)

支 部	_____	会社名	_____
氏 名	_____	E-mail	_____
電 話	_____	FAX	_____

「創る会」で経営姿勢が確立できた

「あなたは何屋さん？」
「やっぱり「創る会」は
この質問です。」



びわ製作所
代表者 川崎 隆氏
(北近江支部 第35期受講生)

金属加工業(町工場)を営む私に、講師(OB)団の先輩方はこんな質問をされます。この質問にあなたならどう答えますか？

受講している7ヶ月間、私はこの質問に苦しめられました。答えが鉄や加工した製品で無いのには気づいていたのですが、今まで考えもしなかった事を聞かれて全く答えが出てきません。カップラーメンやコンビニを例に上げて分かりやすく説明してもらっても、不思議なもので自分の事、自社の事は何も見えてきませんでした。

それが創る会を卒業後、こ

こにきてようやく答えが見えてきたように思います。この答えこそ自社のお役立ちでありお客様が自社に発注をして下さる理由なのだと思ふことができました。そして「理念を創る会」だと思つて受講した私にとつて「経営指針を創る会」は思つていた以上に奥が深く、経営そのものを学ぶ会だと私は思っています。

今後OB団として参加して受講生の皆さんと共に学びを深めていきたいと思います。

経営指針の発表が 経営者としての 第2ステップ



株式会社 滋賀フーズ
代表取締役 水野茂樹氏
(湖南支部 第32期受講生)

同友会には約10年前、前職の管理職時代に入会しました

が、その頃の私は「創る会」は全く意識をしておりませんでした。その後5年前に独立し再入会こそはしましたが、創業時の私は朝から晩まで売上を求めて働き、余裕が全く無く、すぐに多くの問題に突き当たりました。

このままでは駄目だと「創る会」の受講を決意、何のために働くのか？何のために経営をするのか？自社の強みや弱みは？など真剣に考える時間を頂けました。その際OBの方々から沢山のアドバイスや貴重なご意見を頂き、今後の会社経営の方向性や従業員さんとの向き合い方など多くの事を学び、課題を見出すことができました。

改めて自分の考えや会社の方向性を文化することにより、自らの誓いと覚悟ができ、指針書を社内でも発表した時には経営者として、やっと第一ステップに立てたのではと実感

致しました。

現在は指針書に基づいた経営の実践に力を注ぎ、従業員さんと共に考え一緒に創り上げてゆく「経営指針書」会社運営」となるようステップUPを目指して奮闘中です。

社員と一緒に魔法の 経営指針書づくり



菓道 富来郁
代表者 南 万寿夫氏
(東近江支部 第34期受講生)

実家の菓子製造販売に就いて自分ではそれなりの意義を持ち、想いを描いていました。当初は商品づくりに始まり、お客様、お取引様との関係づくり。一生懸命でした。そして、先代からのバトンタッチ。「よし！頑張ろう！」そんな想いでいた。でも、実際に自分が先頭に立つて、一生懸命に何

もやってみると、周りの人との間に溝が出来ていくように感じる。一生懸命に頑張りたいのにも関わらず。(悲)なぜなのだろうか。このままでは駄目と焦り始めました。これが私のスタートでした。

職場のベクトルが同じ方向を向いていない。まず、この事に気づきました。早く経営指針書というモノを手に入れ、社員さんが充実した仕事の毎日になければいけない。という安易な段階から始まりました。最後は職場で全てを発表して、皆ですり合わせて経営理念を完成出来た事は本当に有り難いことでした。

また、後日には、税理士さんにお越し頂き情報を共有化する勉強会を開催するなど結束力の強化も図れました。今後はこの土台を磨く仲間をつくる事が大切な仕事になりました。感謝。

第37期「経営指針を創る会」のご案内

「経営理念を軸とした指針経営」と「人間尊重の経営」が一層大切になってきています

産業の空洞化、少子高齢化、地域経済の疲弊、増税などによる国民購買力の後退など今後の経営環境は一層厳しさを増していくことが予想されます。そのような環境に負けず自社をたくましく維持・発展させていくためには、同友会が提唱する「経営理念を軸とした指針経営」と「人間尊重の経営」が一層大切になってきています。是非、滋賀県唯一の本格的な経営者の道場「経営指針を創る会」にご参加下さい。

「経営指針を創る会」とは

自社の経営の軸となる「経営理念」を策定し、「経営理念」を実現するための「方針」(戦略)、「計画」(具体的年度計画)とあわせて「経営指針書」を作成します。先輩経営者が手弁当で、お手伝いします。

日	日程	内容
2015年9月4日(金) 18:00~21:00		オリエンテーション 会場:フェリエ南草津5階会議室
2015年10月2日(金) 10:00~ 3日(土) 12:00		第1講:社員との関係(労使見解)『経営理念検討シート』討論 会場:ラフォーレ琵琶湖
2015年11月21日(土) 10:00~17:30		第2講:何のために経営するのか?『経営理念』を深める 会場:同友会事務局
2015年12月12日(土) 10:00~17:30		第3講:外部・内部環境の分析から経営戦略づくりへ 会場:同友会事務局
2016年1月16日(土) 10:00~17:30		第4講:中期経営方針(戦略)の立案 会場:同友会事務局
2016年2月13日(土) 10:00~17:30		第5講:『経営指針書』をまとめる 会場:同友会事務局
2016年3月5日(土) 10:00~19:30		第6講:『経営指針書発表』最終討論・総括・懇親会 会場:ラフォーレ琵琶湖



会場は予定です。都合により変更する場合があります。

参加費用●13万円(税別。会場費、食事代、資料代含む。全講受講が原則です。)

参加資格●滋賀同友会会員、または後継者 9名(定員になり次第締切りとなります。)

経営指針を創る会 参加お申込み用紙

第37期「経営指針を創る会」への参加を申し込みます。(FAX 077-561-5334)

支 部	会社名
氏 名	E-mail
電 話	FAX